

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年4月17日

事業所名 陽だまり

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			活動内容に応じて1階2階に分けて活動している	
	2	職員の配置数は適切である	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2			やむを得ずバリアフリー化がなされていない箇所については危険のないよう職員が見守り、必要に応じて援助するようにします
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			定期的に職員全員参加の会議を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				令和4年度開所のため今回の初めて評価表を頂きました。頂いたご意見を受け止め、改善していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1			令和5年度初めて公表します。(令和4年度開所のため)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		1		今後外部評価を行うことを検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			全職員が参加しやすいオンライン研修などの形態を選んで受講している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			今後標準化されたアセスメントツールを使用していくよう検討します
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			全職員意見を出し合い行っています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			毎週ごとに活動内容を計画し、実行しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				今後も平日ではできないこと(クッキングや課外活動など)を長期休暇中に行い様々な活動を工夫していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			支援前にミーティングを行い、その日の流れを全職員が確認できるようにしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			支援終了後に振り返りを行い、次回の支援に生かせるようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			当日か翌日の朝には記入を済ませ、記録担当者以外の職員も気づいたことは記入できるようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4					
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			児童発達支援管理責任者が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			児童発達支援管理責任者が窓口となっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2			現在の所利用者はいない

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			保護者同意の下、引き継ぎを行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	1		該当する利用者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1			今後も時間を確保し、職員全員が研修を受けていくよう努めます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	3		今後の課題として検討していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2			要請や案内があれば、積極的に参加していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			毎日の連絡ノートにその日の様子を必ず記入している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1			今後も家庭でもできそうな支援方法を具体的に示していきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		契約後、途中で変更がある場合も必ず説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4				今後、年2回を目途に行っていきます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			事業所内にポスターを掲示している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2			今後、定期的に会報を発行し保護者に予定や活動内容をお知らせしていきます
	35	個人情報に十分注意している	4			鍵の付いた棚に保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3		今後積極的に検討していきます
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				職員は周知していますが、保護者にも早急に書面で周知します
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			各回想定を変えて訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			法人内で虐待防止委員会を発足させている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1			身体拘束は基本的には行わない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			現在の所利用者はいませんが、保護者協力の下、口頭だけではなく、医師の指示書を提出してもらうように検討します
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2023年 4月 17 日

事業所名 陽だまり 保護者等数(児童数) 3 回収数 3 割合 100 %

		チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1			階段については、子どもが使用する時には、必ず職員が付き危険のないよう配慮していきます
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	3				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	1		コロナも5類に引き下げられますので、積極的に検討していきます
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2			年2回を目途に保護者交流会を開催する予定です
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1			苦情対応につきましては、そのようなご意見を頂いた時には丁寧に対応します
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2			今後定期的に会報を発行し、保護者になるべく早めに行事予定も含め活動内容をお知らせしていきます
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	3				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1			職員は周知していますが、保護者にも早急に書面でお知らせします
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1			定期的に訓練は行っていますが、保護者の周知について不十分であったので会報などでお知らせします
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	3				
	18	事業所の支援に満足しているか	3				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 4月 17日

事業所名 陽だまり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2 職員の配置数は適切である	4			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2		それぞれの子ども達の特性に合わせ、構造化していけるよう意見を出し合い工夫していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		人数に応じて1階2階に分ける等スペースを確保している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		常に全職員が話しができ、意見を言い合える環境を整えている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者評価表を全職員で共有し、保護者の意向を把握している	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			R5年度、初めて公開します（R4年度開所のため）	自己評価や保護者評価表の結果を今後に生かしていきます
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		今後積極的に外部評価の機会を設けるよう努力します
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		オンライン研修など全職員が参加しやすい形態で研修に参加している	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		対面でアセスメントを行い、保護者のニーズを吸い上げて計画を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		今後標準化されたアセスメントツールを使用していくよう検討します
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		保護者のニーズも踏まえつつ、できるだけわかりやすい言葉で具体的に支援内容を設定しています	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		全職員が各利用者の支援計画を把握し、支援を行っています	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		全職員で話し合いながら行っています	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		毎週毎に集団活動の内容を計画し、実行しています	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	4			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		支援前にミーティングを行い、その日の流れをメモに記入したものを全職員が確認できるようにしている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		支援終了後も、振り返りを行い、次回の支援に生かせるようにしている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		記録担当者以外の職員も気づいた事などを個人別ファイルに記録している	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達支援管理責任者が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		保護者同意の下、関係機関と連携している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在の所利用者はいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在の所利用者はいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保護者同意の下、電話や訪問などで情報共有している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保護者同意の下、電話や訪問などで情報共有している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			今後も時間を確保し、職員全員が研修を受けていくよう努力していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4			今後も、主に認定こども園太陽保育園と連携し、交流の場を設けます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		要請や案内があれば、積極的に参加していきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		毎日の連絡ノートにその日の様子を必ず書くようにしている	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4			今後も家庭でできそうな支援方法を具体的に示していきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約後、途中で変更がある場合も必ず説明を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		モニタリング時に時間を取って話をし、支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			今後、年二回を目途に行っていきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			今後も保護者の悩み事の相談には時間を問わず丁寧に行っていきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2		今後、定期的に会報を発行し、保護者に予定や活動内容をお知らせしていきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵の付いた棚に保管している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		今後検討していきます
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1		職員は周知していますが、保護者にも早急書面で周知します

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		想定を変えて訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			保護者の協力の下、口頭だけではなく医師の指示書を提出してもらうように検討します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		法人内で虐待防止委員会を発足させている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1		身体拘束は基本的に行わない

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2023 年 4月 17 日

事業所名 陽だまり

保護者等数(児童数) 5

回収数 5

割合 100

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4			1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5				部屋のドアが優しく閉まるようになっているのありがたい。	指を挟んだりしてケガをすることのないよう、設計の段階から考えて配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5				清潔で明るい	利用者子ども達が清潔な環境の中で過ごせるよう常に気を配っています
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	5					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	4				これから少しずつ色々な活動をしてもらえたら嬉しい	活動プログラムを工夫し、子ども達が楽しめるものを提供できるようにしていきます
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3				2	
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	5				いつも相談がある時は時間をかけて聞いてもらっている	今後も、保護者の皆様と話ができる時間を作り、気持ちに寄りそいながら支援していきます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3				2	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2			3	緊急時、災害時の対応がどうなっているかわからない。いつもと違うことをするのが難しいので。	緊急・災害時の対応については、早急に保護者の皆様へ書面でお知らせ致します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			3	普段からの練習が必要なのかもしれない	定期的に避難訓練は行っていますが、保護者の方への周知ができていなかったため、今後はお知らせします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5					
	23	事業所の支援に満足しているか	5				陽だまりに通わすことができ、本当に良かった。	そのようにお答え頂きありがとうございます。今後も職員一同頑張ります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。